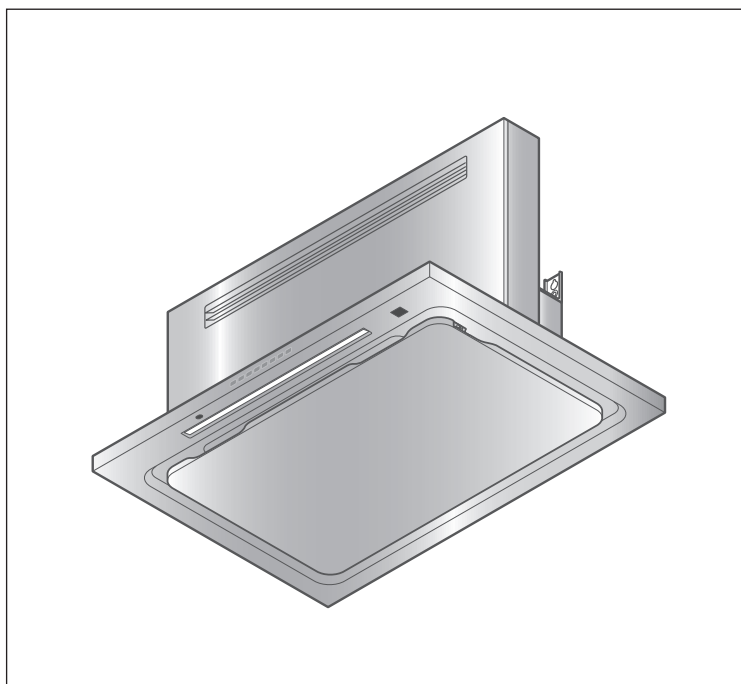


強制同時給排 レンジフード 取付説明書



安全上のご注意.....	2 ～ 3
取り付け上のご留意.....	4
取り付け前の調査と準備	5 ～ 6
各部のなまえ	7
製品寸法図	7
付属品	8
取り付けかた	9 ～ 22
1. 付属品の確認	9
2. 給気・排気方向の決定.....	10
3. 給気ダクト位置の確認と給気ボックスの付け替え.....	11 ～ 13
4. 給気・排気用部品の準備.....	14
5. 本体の取り付け	15 ～ 16
6. ダクトと給気・排気用部品の接続	17
7. 電気配線.....	18
8. 給気幕板の取り付け	19 ～ 20
9. 固定テープの取りはずし	21
10. 試運転	22
11. お客様への説明	22
取付寸法図	23

販売店・工事店様へ：
この取付説明書は取り付け後、
施主様へ必ずお渡しください。

取り付け前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、
正しく取り付けをおこなってください。

1B03 G981



安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。



注意

：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例



○ 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



警告



分解・修理・
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと

発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



取付注意

- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと

火災などの原因になります



取付注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと

誤った配線工事は感電や火災の原因になります



アースを
取り付ける

- アースを確実に取り付けること

故障や漏電のときに感電するおそれがあります

アースの取り付けは販売店にご相談ください



取付注意

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けること

漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります



取付注意

- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと

火災などの原因になります

詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください

安全上のご注意

警告



埋込禁止

- レンジフードの壁への埋め込みはしないこと

漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

- レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラシ網など）と接触しないよう取り付けること

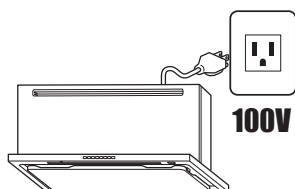
漏電した場合、発火するおそれがあります



使用禁止

- 交流 100 V 以外では使用しないこと

火災・感電の原因になります



取付注意

- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること

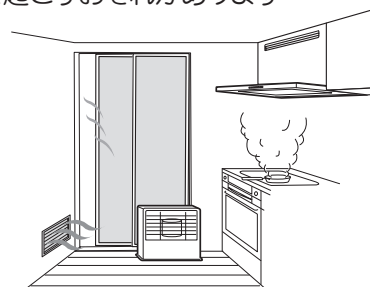
火災・故障の原因になります



取付注意

- 自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること

排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります



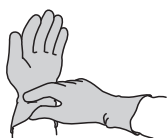
注意



手袋をする

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること

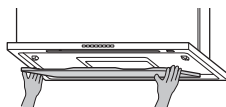
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



取付注意

- 部品の取り付けは確実におこなうこと

落下によりけがをするおそれがあります



取付注意

- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと

落下によりけがをするおそれがあります



取付注意

- 作業は 2 人以上でおこなうこと

製品は約 43kg の重さがあります



使用禁止

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと

（浴室用換気扇をお使いください。）

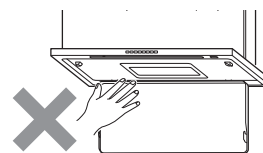
感電および故障の原因になります



接触禁止

- 運転中は、指や物を絶対に入れないこと

けがをするおそれがあります



取付禁止

- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと

火災・故障の原因になります

取り付け上のお願い

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。

- **大工工事**

- 【設置のための下地工事等】

- **配線工事**

- 【コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等】

- **管工事**

- 【ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等】

流通業者（販売店）を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。

- **ダクトの不燃処理について**
 - ・ ダクトを 50mm 以上の不燃材料、または 20mm 以上の国土交通大臣不燃認定品の不燃材料で被覆してください。
 - ・ 施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」・「検査要領書」に従ってください。
- **調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。**

調理機器はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。排気効率が低下します。
- **屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は 400m³/h 時 50Pa 以下のものをご使用ください。**

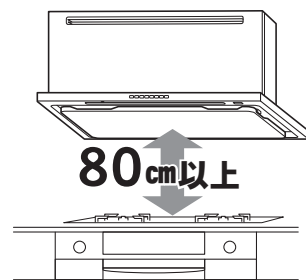
防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。
- **非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。**
- **レンジフード取付面の補強部に、取付用座付ねじが確実に届くことを確認してください。**

本体の取付用座付ねじは 45mm の長さのものが同梱されておりますが、壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用座付ねじが確実に補強部に届くことを確認してください。

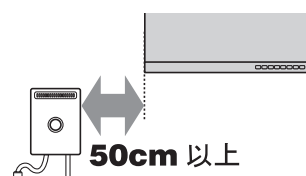
また、レンジフード本体取付面には必ず不燃材を使用してください。

- **レンジフードは調理機器の真上に取り付けてください。**

なお、レンジフード取付高さは、レンジフードの下端が調理機器の真上 80cm 以上になるようにしてください。



- **レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けしないでください。また、横方向 50cm 以上離して取り付けしてください。**湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。



- **部屋の中央で調理される場合は、油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。**
- **建物が密閉されている場合は必ず、約 400cm² 程度の空気取入口を設けてください。**
- **寒い地域ではダクトが結露しレンジフード内に結露水が流れる場合がありますので断熱材を巻くなどの対応をしてください。**
- **同時給排モデルのレンジフードをお使いの場合でも、建物の気密性によって給気が必要となる場合があります。その場合は別途空気取入口を設けてください。**
- **製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。**
- **ダクトは必ず屋外側に向けて下り勾配を設けてください（目安：1/100 ～ 1/50 程度）。雨水の浸入や結露水の逆流の原因になります。**
- **汚れを除去する際は、シンナー等の有機溶剤を使用しないでください。**

塗装面が変色したり、はがれたりすることがあります。
- **風量おまかせ運転（風量自動切替）機能を正しくお使いいただくために、別紙に記載の方法で必ず環境設定をおこなってください。**
- **レンジフードの排気ダクトは他の排気ダクトと併用しないでください。**

取り付け前の調査と準備

警告



分解・修理・
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと

発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



埋込禁止

- レンジフードの壁への埋め込みはしないこと

漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

- レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること

漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと

火災などの原因になります



取付注意

- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すが、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと

火災などの原因になります

詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください



取付注意

- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること

火災・故障の原因になります

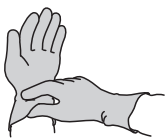
注意



手袋をする

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること

鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



取付注意

- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります



取付禁止

- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと

火災・故障の原因になります

取り付け前の調査と準備

1 取付面の強度確認

製品を支える強さが必要です。

製品質量	43 kg
------	-------

■ 板張りの場合（取付面は必ず不燃処理をおこなってください）

- 板厚が 20mm 未満の場合には壁に補強板を埋め込み、補強板にレンジフードを取り付けてください。
- 板厚が 20mm 以上の場合は補強板の必要はありません。

■ コンクリート、タイル壁の場合

- あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カープラグ等を使用し固定してください。

■ 土壁の場合

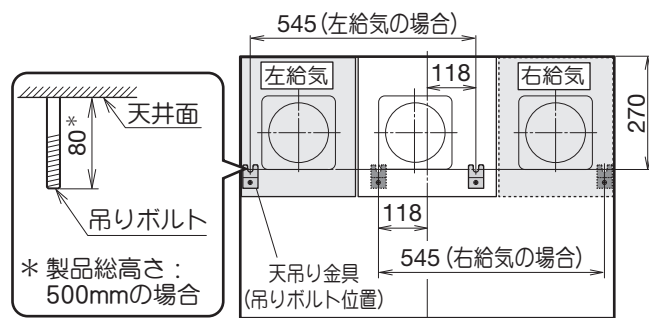
- 柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでください。

2 吊りボルトの設置

2 本の吊りボルトを右図および製品寸法図を参照して天井部梁に取り付けます。

※ 吊りボルトは M10（市販品）を使用してください。

※ 吊りボルトは、製品を支える十分な強度を確保してください。必要となる強度は、建物の条件、耐震クラスなどにより異なります。



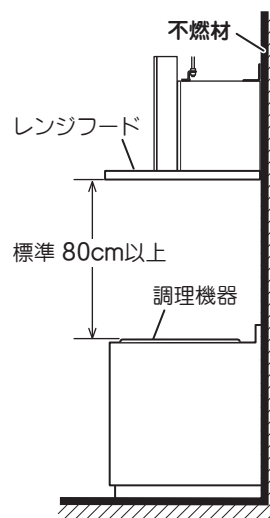
3 別売部品の準備

排気工事に応じた別売部品の準備が事前に必要です。

4 標準取付寸法

本製品の標準取付寸法は、調理機器の上面からレンジフードの下端まで 80cm 以上です。

※ 火災予防条例では、グリスフィルターの下端が調理機器の真上 80cm 以上必要となっています。



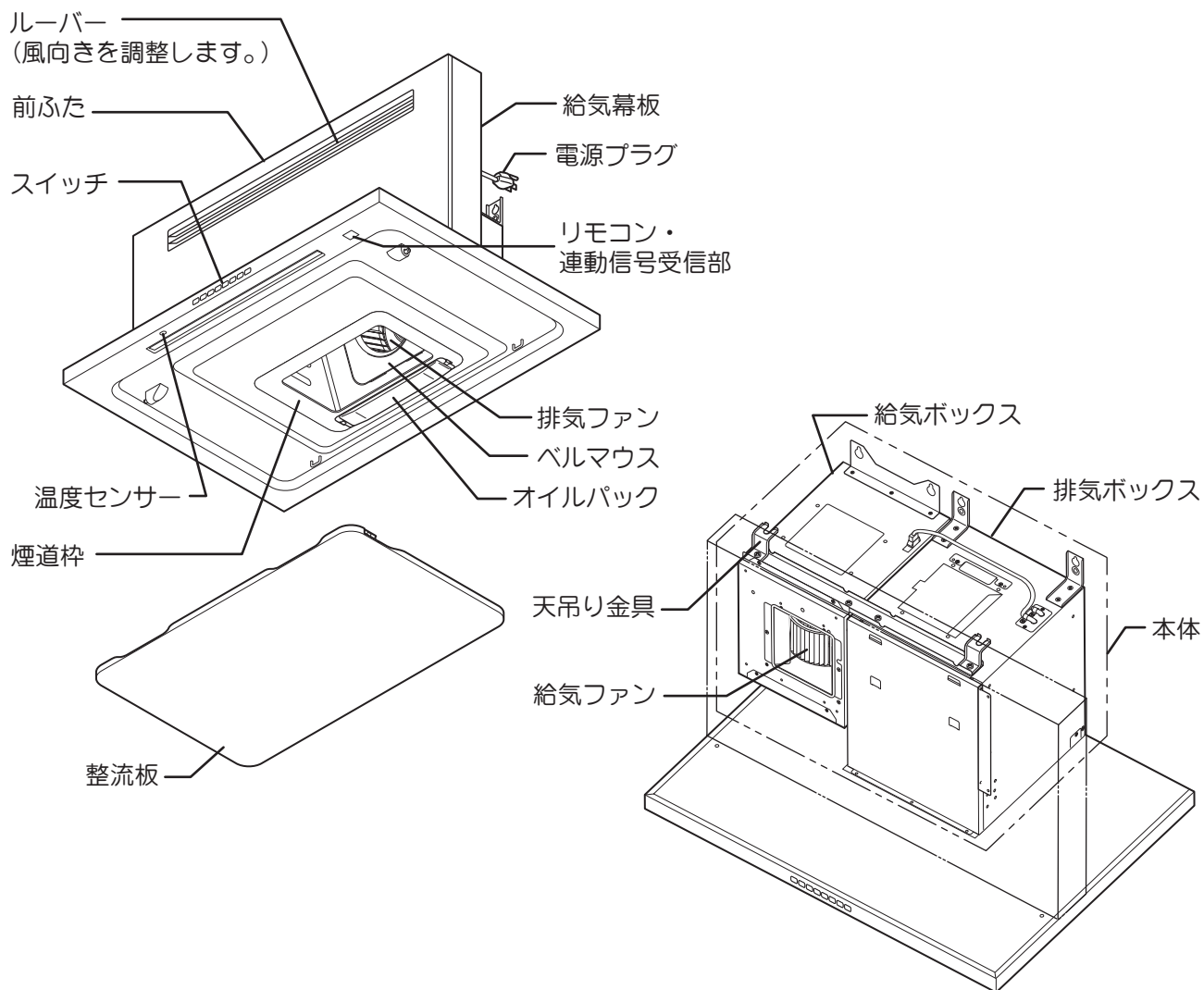
5 電源コンセント・ブレーカー

電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。（交流・単相 100V）
コンセントは、JIS C 8303 2 極接地極付差込接続器 15A 125V をご使用ください。

お願い

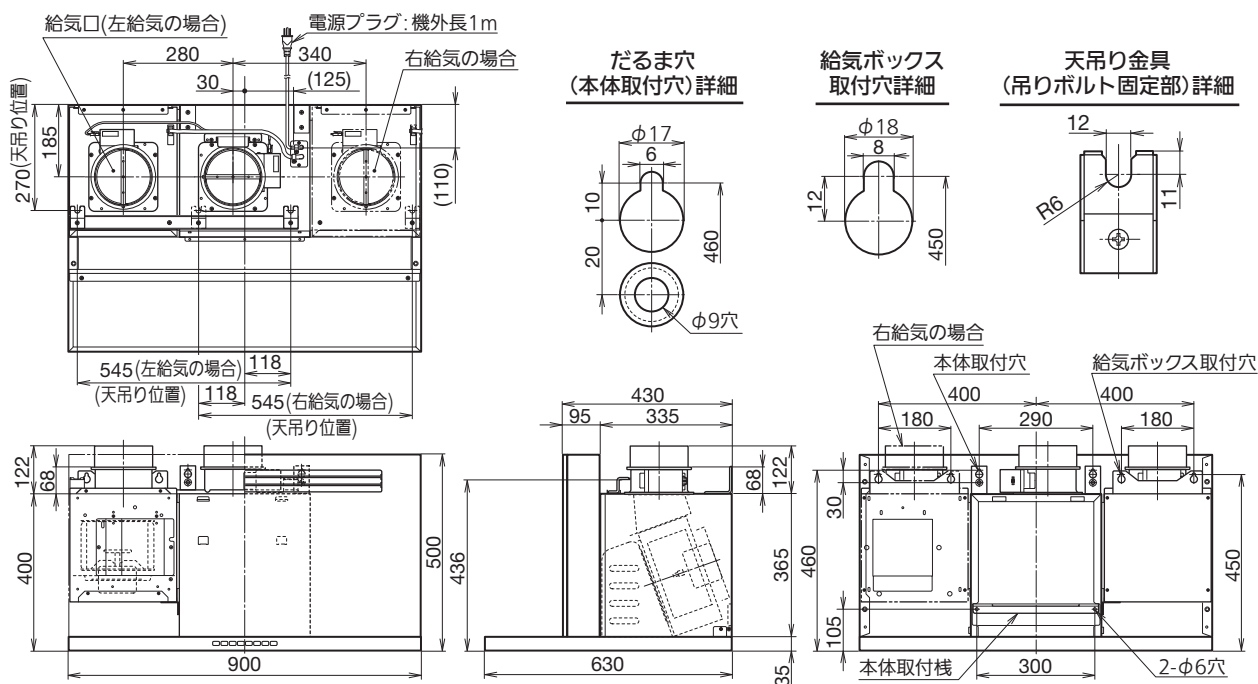
必ずアース工事（D 種設置工事）をしてください。レンジフードが誤作動することがあります。

各部のなまえ

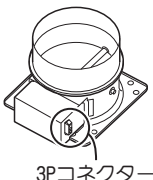
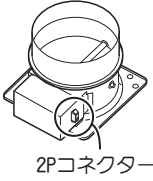
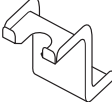
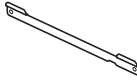
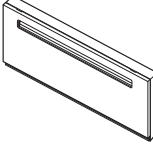


製品寸法図

(単位：mm)



付属品

	座付ねじ (φ 5.1 × 45) 8 本	本体および本体取付 棧の取り付けに使 います。		ソフトテープ 2 本	給気口・排気口とダ クトとのすきまをふ さぐのに使います。
	なべねじ (M4 × 8) 18 本	給気口・排気口およ び給気幕板の取り付 けに使います。	 3Pコネクター	給気口 (電動シャッター) 1 個	本体と給気ダクトの 接続に使います。
	トラスねじ (M4 × 10) 2 本	給気幕板 (前ふた) の取り付けに使いま す。	 2Pコネクター	排気口 (電動シャッター) 1 個	本体と排気ダクトの 接続に使います。
	天吊り金具 2 個	本体の取り付けに使 います。		本体取付棧 1 個	本体の取り付けに使 います。
	アルミテープ 6 枚	給気幕板のねじ穴を ふさぐのに使います。		給気幕板 1 枚	本体に取り付けます。

取り付けかた

- 本製品は強制上方給排気専用レンジフードです。
取り付けに際しては、給排気口の上部天井を開口して取り付けください。
（「2. 給気・排気方向の決定」手順 2 参照）（10 ページ）
- 本製品は出荷時、左側給気用になっています。右側給気用にするためには給気ボックスの付け替えが必要です。
本説明書は左側給気用の図で説明しています。右側給気用の場合は吊りボルトおよび給気口・排気口の位置が逆になりますが、取付方法は同じです。

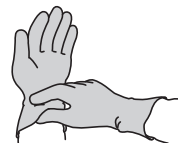
1. 付属品の確認

⚠ 注意



手袋をする

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

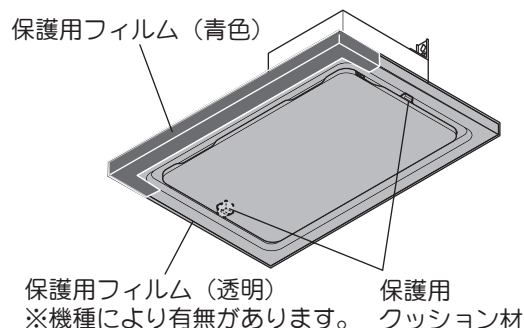


付属品を確認します。

梱包箱から給気口・排気口、ねじ等の付属品を取り出し、前ページの付属品一覧により不足がないか確認してください。

お願い

- ・ 保護用クッション材と固定用テープはキズ、破損防止のため、「8. 給気幕板の取り付け」手順 1（19 ページ参照）まではずさないでください。
- ・ 保護用フィルム（青色）ははがさないでください。ただし、保護用フィルム（透明）が貼られている機種は一度保護用フィルム（青色）をはがし、保護用フィルム（透明）をはがしてください。その後、保護用フィルム（青色）をもとの位置に貼り付け直してください。
- ・ 床で作業する場合、本体および床にキズを付けないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。
- ・ 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。



取り付けかた

2. 給気・排気方向の決定

警告



取付注意

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けること

漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります



取付注意

- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと

火災などの原因になります



取付注意

- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと

火災などの原因になります

詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください

注意



使用禁止

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください。）

感電および故障の原因になります



取付禁止

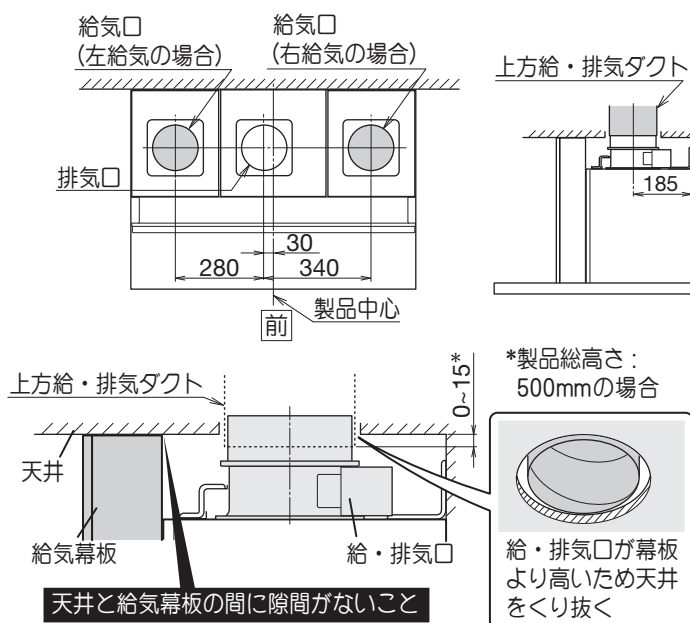
- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと

火災・故障の原因になります

- 1 製品寸法図を参照し、事前に管工事業者（法的有資格者）へ天井穴の開口を依頼してください。（ダクトの風漏防止のテーピング作業ができるよう、天井穴は大きめに開けてください。）

また、コンセントの位置を確認してください。（18 ページ「7. 電気配線」参照）

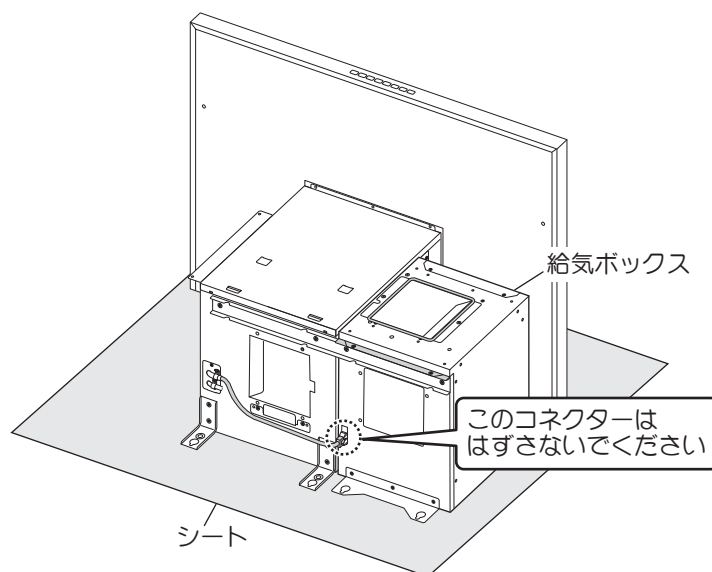
- 2 φ 150 のステンレスダクト、またはスパイラルダクトを図のようにレンジフードの上部に突き出すようにセットして、周囲を仕上げます。（コンクリート、タイル、土壁の場合）



取り付けかた

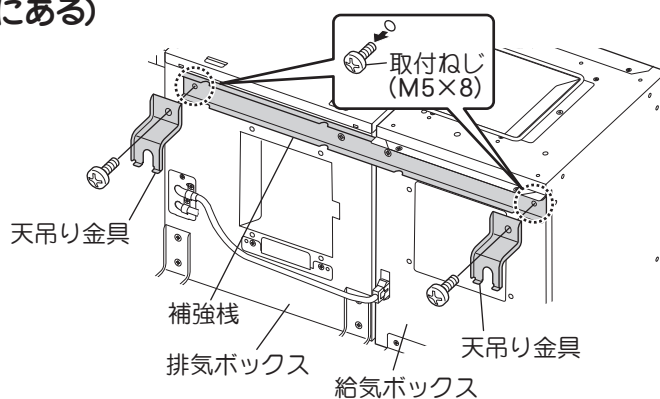
3. 給気ダクト位置の確認と給気ボックスの付け替え

※ シートなどの上で製品を図のように寝かせて作業してください。



■ 左側給気の場合（給気ダクトが排気ダクトの左側にある）

出荷時は左側給気になっています。
補強栈の両端の取付ねじ（M5 × 8）2 本をいったんはずし、付属品の天吊り金具を共締めします。



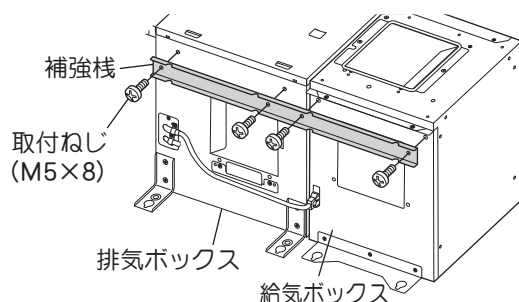
■ 右側給気の場合（給気ダクトが排気ダクトの右側にある）

給気ボックスの付け替えが必要です。

■ 給気ボックスの付け替え

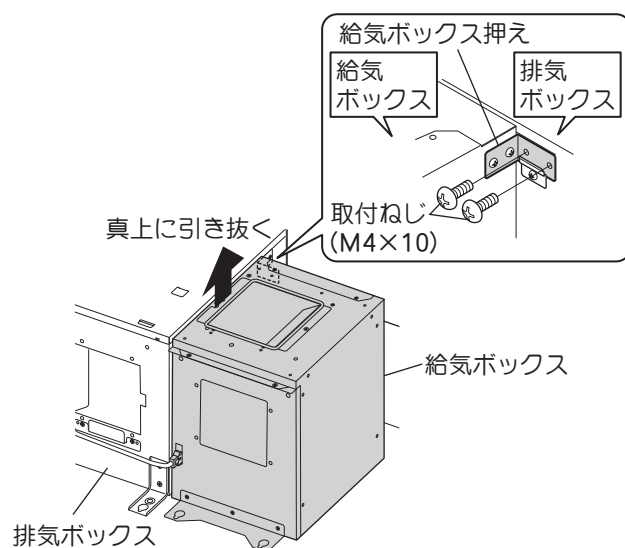
1 給気ボックスを取りはずします。

- 1) 本体上部の補強栈の取付ねじ（M5 × 8）4 本をはずし、補強栈を取りはずします。



取り付けかた

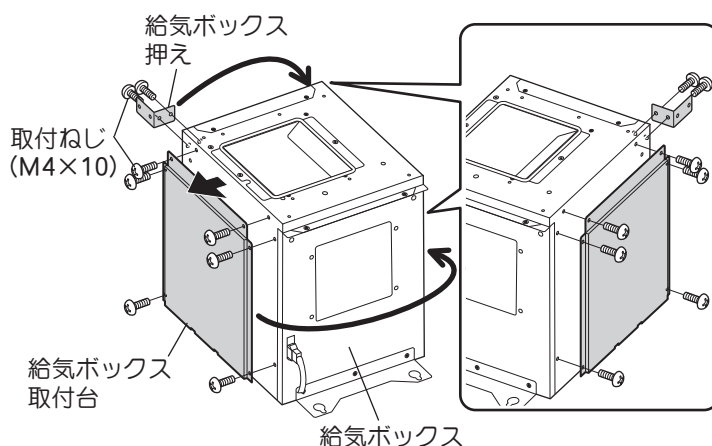
- 2) 給気ボックスと排気ボックスを固定している給気ボックス押えから、取付ねじ (M4 × 10) 2本をはずし、給気ボックスを真上に引き上げて取りはずします。



2 給気ボックス取付部材を付け替えます。

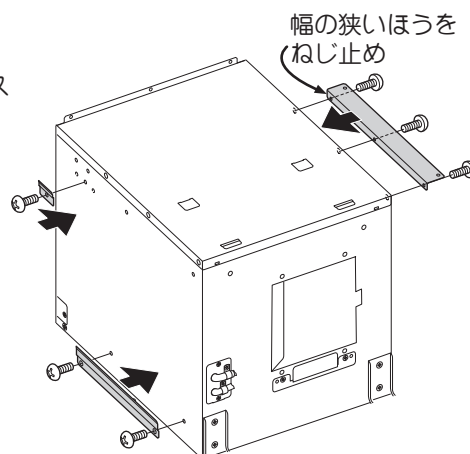
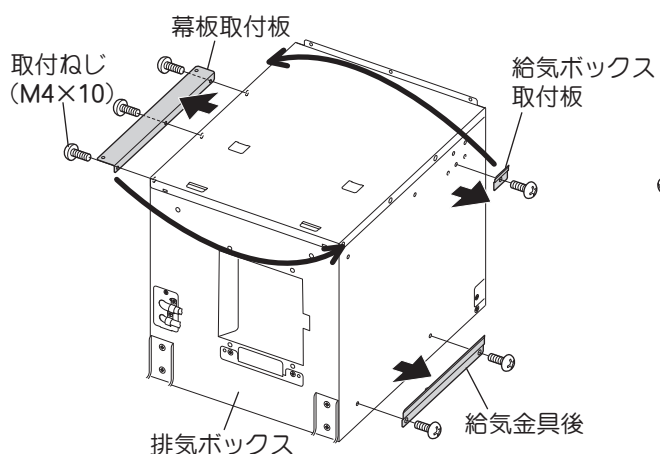
- 1) 給気ボックスに取り付いている給気ボックス取付台および給気ボックス押えの取付ねじ (M4 × 10) 計 8本をはずし、反対側に取り付けます。

※ 給気ボックス押えの取付方向を間違えないようご注意ください。



- 2) 排気ボックスに取り付いている給気ボックス取付板、幕板取付板および給気金具後の取付ねじ (M4 × 10) 計 6本をはずし、反対側に取り付けます。

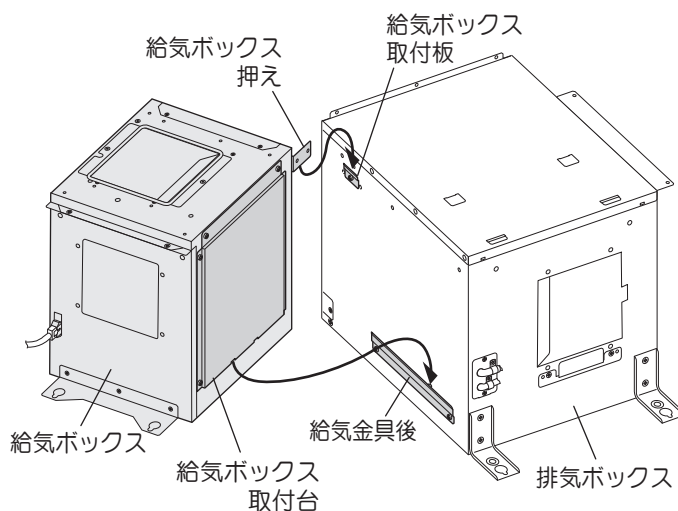
※ 金具の取付方向を間違えないようご注意ください。



取り付けかた

3 給気ボックスを排気ボックスに取り付けます。

- 1) 給気ボックス取付台および給気ボックス押えを給気金具後および給気ボックス取付板に引っ掛けます。

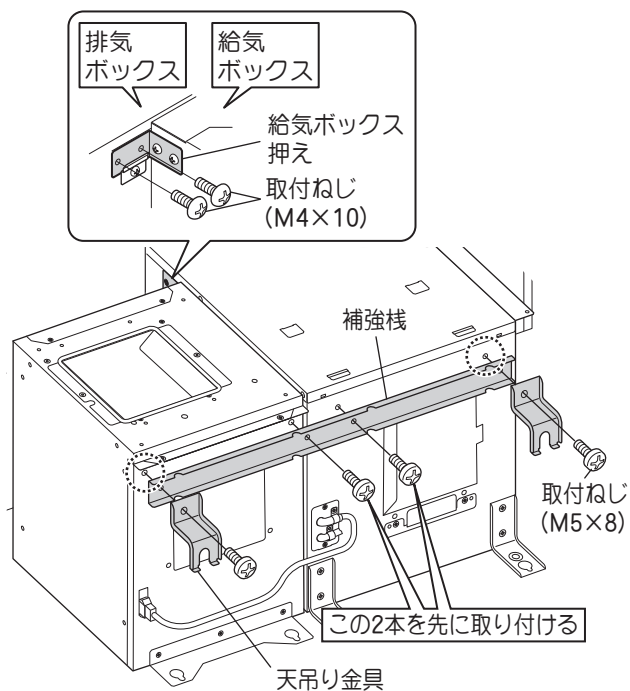


- 2) 給気ボックス押えを取付ねじ 2 本 (M4 × 10) で排気ボックスに固定します。

- 3) 補強枠と天吊り金具を給気・排気ボックス上部に取付ねじ (M5 × 8) 4 本で固定します。

※ 天吊り金具は補強枠の両端に共締めします。

※ 補強枠を固定するねじは中央寄りの 2 本を先に取り付けてください。



取り付けかた

4. 給気・排気用部品の準備

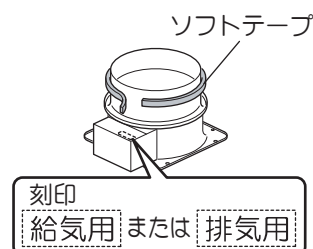
※「1. 付属品の確認」(9 ページ参照) で取り出した給気口・排気口を用意してください。

お願い

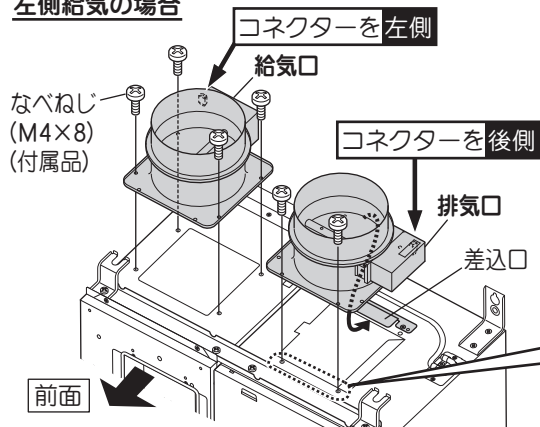
手動でシャッターを開閉すると故障の原因になりますのでお止めください。

■ 給気口・排気口の取り付け

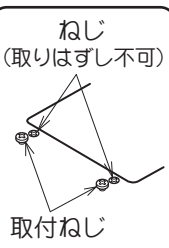
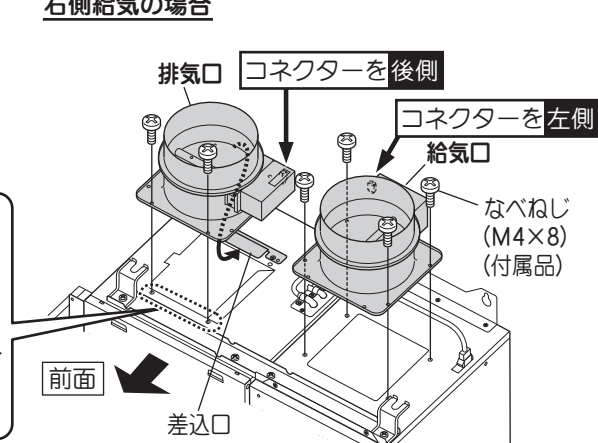
- 1) 給気口・排気口に付属品のソフトテープを貼り付けます。
- 2) 排気ボックスに付いている取付ねじ (M4 × 8) 2 本を取りはずし、付属品の排気口を差込部に差し込み、取付ねじで取り付けます。
※ 取付ねじ近傍のねじは取りはずさないでください。
- 3) 付属品の給気口を付属品のなべねじ (M4 × 8) 4 本で取り付けます。
※ 給気口・排気口の取付方向は下図を参照してください。
※ 給気口・排気口にそれぞれ「給気用」「排気用」表示があります。
取付位置を間違えずに取り付けてください。



左側給気の場合

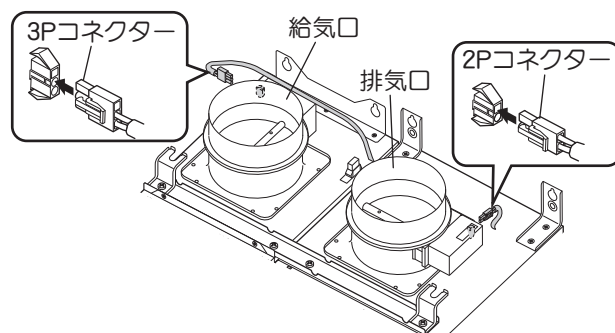


右側給気の場合



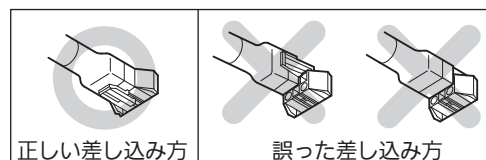
■ 給気口・排気口への信号線の接続

- 1) 給気口のコンネクター接続部 (3P コネクター) に排気ボックスの信号線 (3P コネクター) を接続します。
- 2) 排気口のコンネクター接続部 (2P コネクター) に排気ボックスの信号線 (2P コネクター) を接続します。



お願い

コンネクターを挿入する際は、ツメの向きを合わせて確実にロックしてください。
接続が不十分な場合、レンジフードが動作しない、発熱による故障などの原因になります。



取り付けかた

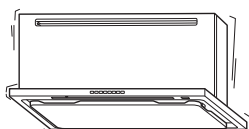
5. 本体の取り付け

⚠ 注意



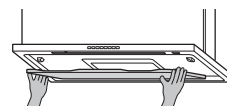
取付注意

- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実に起こなうこと
落下によりけがをするおそれがあります



取付注意

- 部品の取り付けは確実に起こなうこと
落下によりけがをするおそれがあります



取付注意

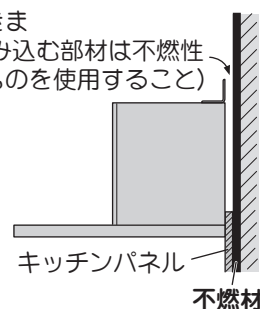
- 作業は2人以上でおこなうこと
製品は約 43kg の重さがあります



お願い

- ・ レンジフードの前後および左右方向の水平を確実にだしてください。水平に設置されていないと、本体内部の汚れ（油）が各部のすきまから調理面に滴下することがあります。
- ・ キッチンパネルの上端部をレンジフード下部壁面に入れ込んで設置する場合、レンジフードと壁面のすきまに挟み込む部材は不燃性のものを使用してください。可燃物を使用した場合、火災の原因になるおそれがあります。

すきま
(挟み込む部材は不燃性のものを使用すること)

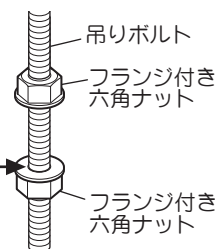


1 事前に取り付けた吊りボルトにフランジ付き六角ナットを取り付けます。

吊りボルトの下側のフランジ付き六角ナットの位置（天吊り金具取付位置）は製品寸法図を参考にあらかじめセットしておくこと後作業が容易になります。

※ 吊りボルトとフランジ付き六角ナットは取付作業側で手配願います。

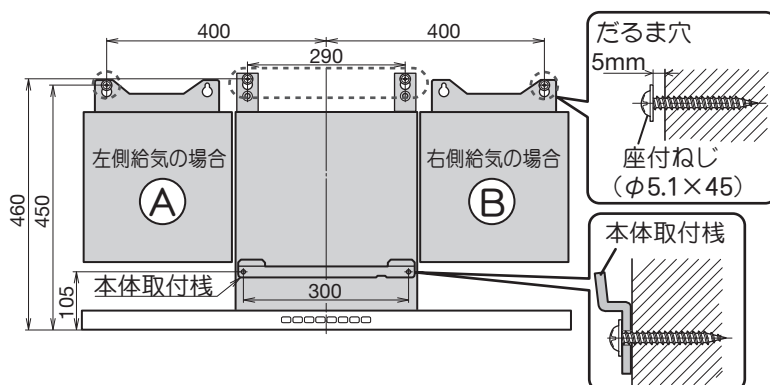
下側のフランジ付き六角ナットを天吊り金具の取り付け位置にセットしておきます。



2 だるま穴用座付ねじをねじ込みます。

取付寸法図（23 ページ）を参照し、だるま穴位置（3ヶ所）に付属品の座付ねじ（φ 5.1 × 45）を壁面とのすきま 5mm まで締め付けます。

給気ボックスの位置
① 左側給気の場合
② 右側給気の場合



取り付けかた

2 本体取付棧を取り付けます。

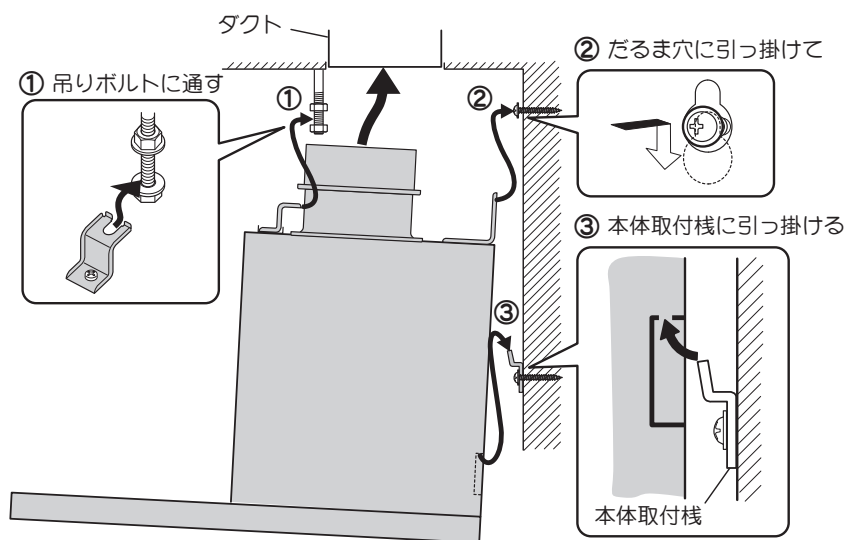
取付寸法図（23 ページ）を参照し、本体取付棧の取付位置に付属品の座付ねじ（φ 5.1 × 45）2 本で本体取付棧を固定します。

3 本体を引っ掛けます。

吊りボルト先端を天吊り金具に通し（①）、本体のだるま穴を座付ねじに引っ掛けながら（②）、本体背面の溝を本体取付棧に引っ掛けます（③）。

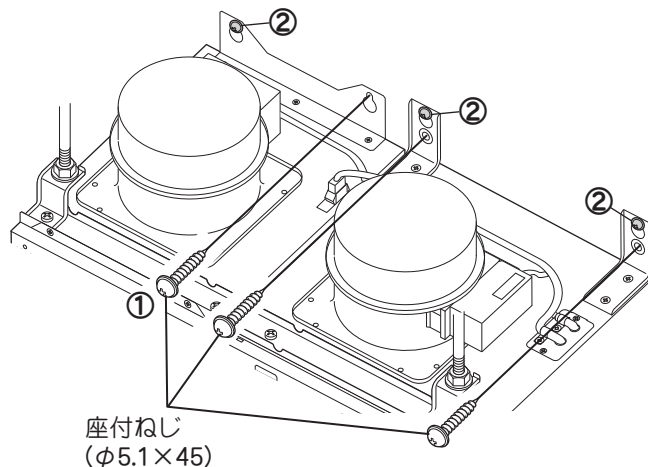
お願い

ダクトに給気口・排気口を差し込みながら本体を取り付けてください。



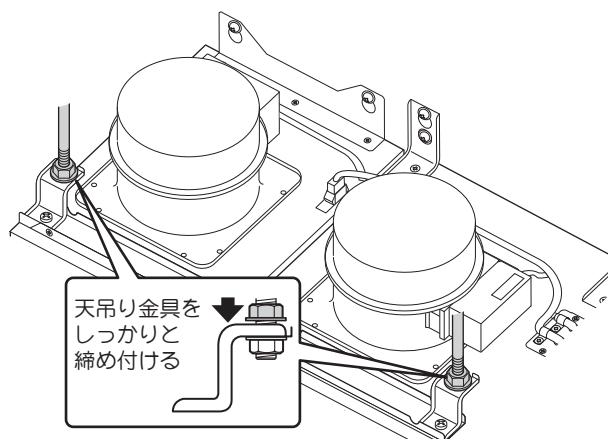
4 本体を固定します。

- 1) 本体のだるま穴下のφ 9 穴（左右各 1 ヶ所）、給気ボックスのだるま穴に付属品の座付ねじ（φ 5.1 × 45）3 本をしっかりと締め付けます（①）。
- 2) だるま穴の座付ねじ（φ 5.1 × 45）をしっかりと締め付けます（②）。



5 天吊り金具を締め付けます。

天吊り金具をはさみ込むように上側のフランジ付き六角ナットをしっかりと締め付けます。

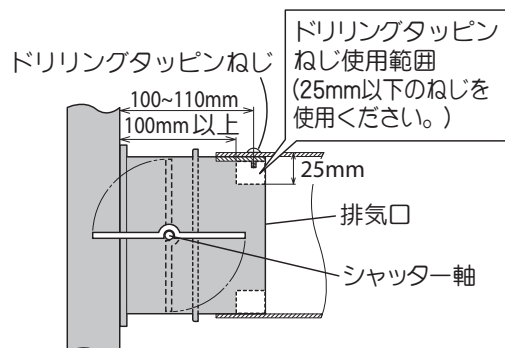


取り付けかた

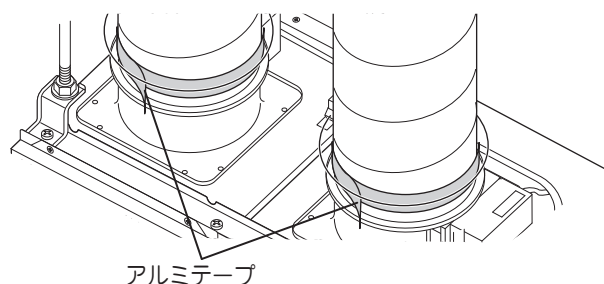
6. ダクトと給気・排気用部品の接続

お願い

ドリリングタッピンねじなどで排気口を固定する場合は、シャッターにねじが当たらないように、図を参照してドリリングタッピンねじ使用範囲内に固定してください。



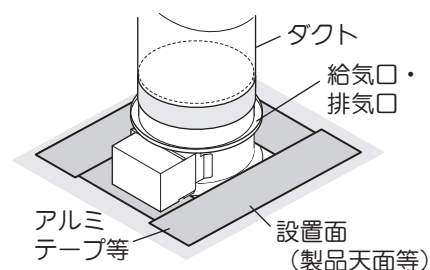
風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）をおこないます。



給気口・排気口設置面の漏風確認のお願い

給気口・排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトに接続しようとすると、設置面（製品天面等）が変形し、風漏れが発生してしまう場合があります。

風漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転（強運転）をおこなってください。漏風する場合は、給気口・排気口と設置面の周りをアルミテープ等（現場調達品）で漏風防止処置をおこなってください。



取り付けかた

7. 電気配線

警告



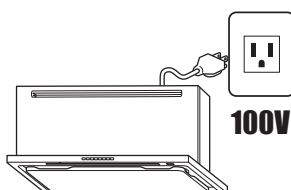
分解・修理・
改造禁止

- 修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



使用禁止

- 交流 100 V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります



取付注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと

誤った配線工事は感電や火災の原因になります



アースを
取り付け

- アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは販売店にご相談ください

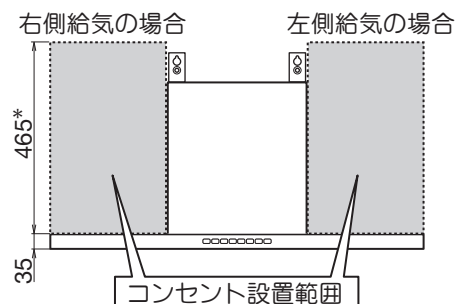
1 アース（D 種接地工事）を取ります。

2 分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。

お願い

- ・電源は専用のコンセント（2 極接地極付差込接続器 15A、125V）およびブレーカーを設けてください。
- ・「10. 試運転」（22 ページ参照）までブレーカーは「入」にしないでください。
- ・コンセントは電源コードの長さを考慮し、幕板のサイズに合わせて上図範囲内（部）に設置してください。

*製品総高さ：
500mmの場合

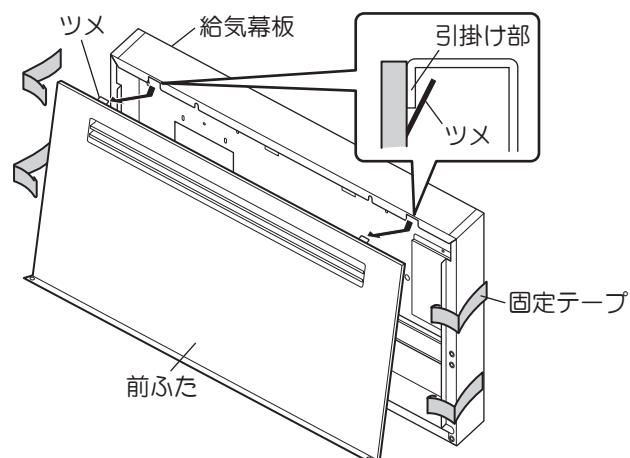


取り付けかた

8. 給気幕板の取り付け

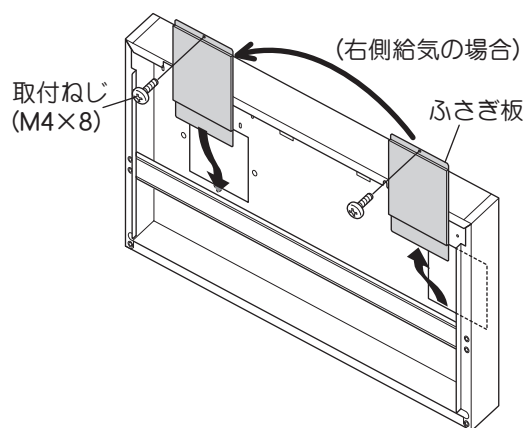
1 前ふたをはずします。

梱包材から給気幕板一式を取り出し、左右 4 ヶ所の固定テープをはがし、前ふたを開きながら上部 2 ヶ所の引掛け部から取りはずします。



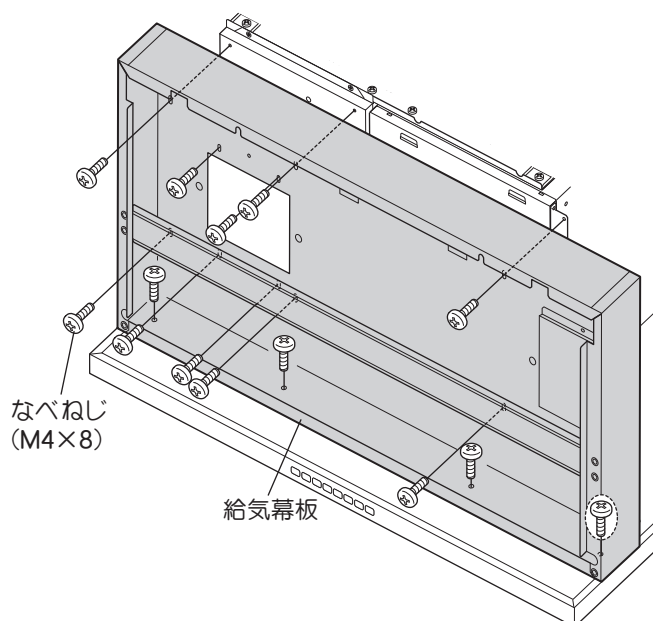
2 給気幕板の塞ぎ板を付け替えます。 (右側給気の場合のみ)

ふさぎ板を固定している取付ねじ (M4 × 8) 1 本をはずし、給気幕板の左側開口部にはずしたふさぎ板を取り付けます。



3 給気幕板を取り付けます。

1) 給気幕板を付属品のなべねじ (M4 × 8) 14 本 (給気口部 10 本、下部左右各 2 本) でレンジフードに取り付けます。

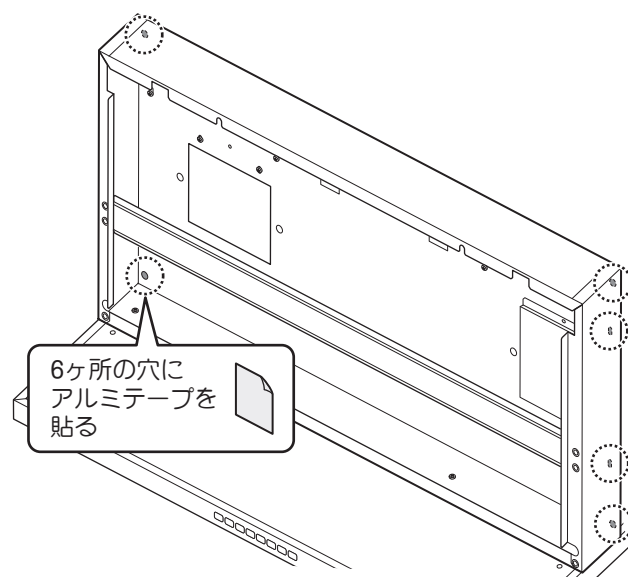


取り付けかた

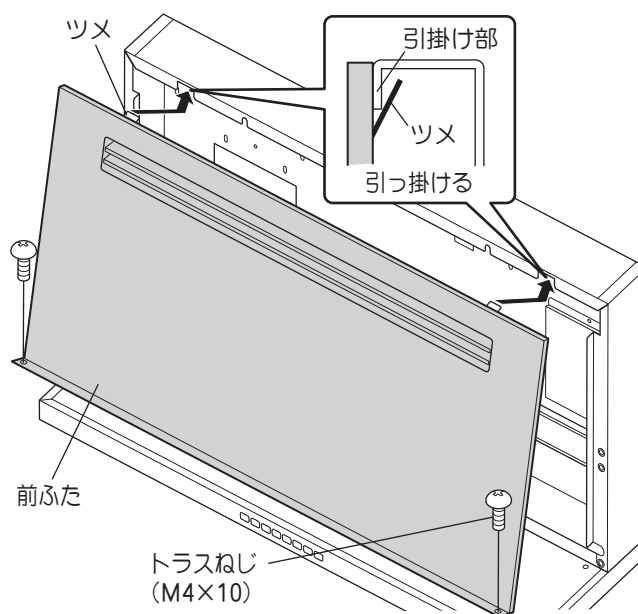
- 2) 風漏れ防止のため、付属品のアルミテープ 6 枚でねじ止めしていない穴をふさぎます。

■ 横幕板（別売品）を取り付ける場合

横幕板の取付説明書にしたがって取り付けてください。



- 3) 前ふた上部のツメを給気幕板の引掛け部に引っ掛け、付属品のトラスねじ (M4 × 10) 2 本で下部左右 2 ヶ所をレンジフードに固定します。



取り付けかた

9. 固定テープの取りはずし

1 整流板をはずします。

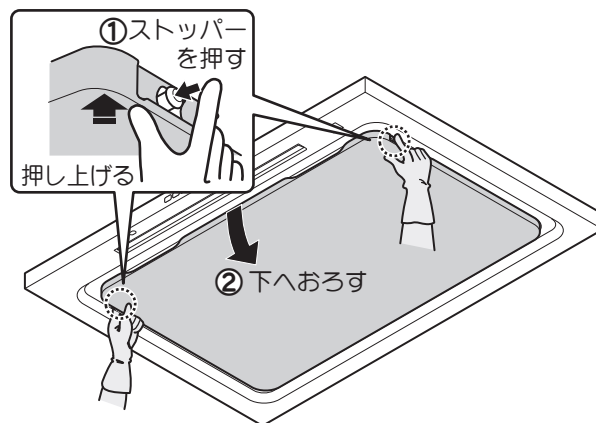
※ 保護用クッション材をはずしてください。

1) 整流板を両手で支え、少し押し上げるようにして整流板の左右にあるストッパーを押してはずします (①)。

2) 整流板を両手で支えながら下へゆっくりとおろします (②)。

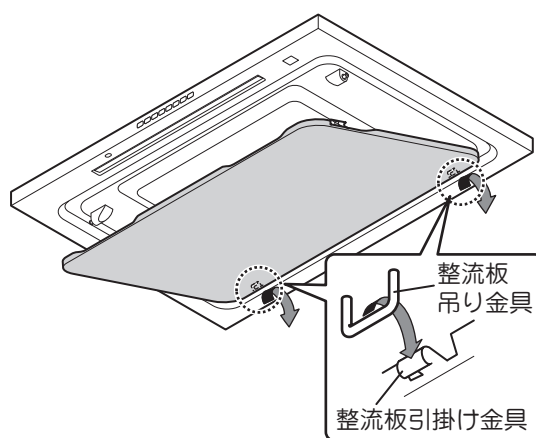
3) 整流板の後ろを持ち上げ、整流板吊り金具からはずします。

※ 必ず左右同時にはずしてください。
整流板引掛け金具の変形の原因になります。



2 オイルパックとベルマウスを固定しているテープをはがします。

※ 固定テープをはずした後は、はずした部品をもとどおりに取り付けてください。



取り付けかた

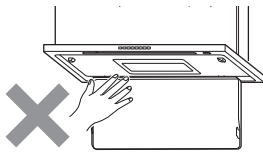
10. 試運転

注 意



接触禁止

● 運転中は指や物を絶対に入れないこと
けがをするおそれがあります



- 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。
スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- 最終設置した状態で試運転してください。
- 運転時、各速調の排気・給気が正しくおこなわれていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 屋外の排気出口から排気され、異常音がないことを確認してください。
- 前ふたのルーバーを調整して、給気風が天井面や直接顔に当たらない位置にセットしてください。
- 取り付けまたは各種工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので
十分確認してください。
- 製品保護のため、フードに保護用フィルム（青色）がついていることを確認してください。

11. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様へお渡しください。

